

F - ジメトキシシン - 10%

(一般的名称：スルファジメトキシシン)



【成分及び分量（本剤100g中）】 【効能又は効果】

スルファジメトキシシン 10g

豚：トキソプラズマ病

炭酸カルシウム 90g

鶏：コクシジウム病、伝染性コリーザ、ロイコチゾーン病

【用法及び用量】

飼料1t当たりスルファジメトキシシンとして下記の量を均一に混合して経口投与する。

豚 : 700~2,000g (本剤として7~20kg)

鶏 (産卵鶏を除く) : コクシジウム病、伝染性コリーザ 500~1,000g (本剤として5~10kg)

ロイコチゾーン病 25~100g (本剤として250~1,000g)

【使用上の注意】(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意) (1)本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。(2)本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。(3)本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。(4)本剤の使用に当っては、適応症の治療上必要な最小限の投与に止めることとし、週余にわたる連続投与を行わないこと。(5)本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法・用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物（豚、鶏：産卵鶏を除く。）について上記の用法及び用量並びに次の**使用禁止期間**を遵守して下さい。

鶏（産卵鶏を除く）：食用に供するためにと殺する前14日間 豚：食用に供するためにと殺する前14日間

***産卵鶏；食用に供するために出荷する卵を産卵している鶏をいう。**

(使用者に対する注意) 飼料等に混合する際は、マスク等を着用し、粉じん等を吸い込まないように注意し、また皮膚に付着しないように注意すること。 (取扱い及び廃棄のための注意) (1) 小児の手の届かないところに保管すること。(2)本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。(3)誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。(4)使用済みの容器は地方公共団体条例等に従い処分すること。(5)本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意) (1)誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。(2)取扱い後、顔や手を石鹸と水でよく洗い、十分にうがいをする。 (3)万一眼に入った場合には、直ちに水でよく洗うこと。万一刺激が持続するようであれば、医師に相談すること。 (豚及び鶏に関する注意) 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。 (取扱い上の注意) 十分混合してから投与すること。



製造販売元：株式会社養日化学研究所

愛知県名古屋市守山区金屋2丁目393番地 TEL (052) 791-2084